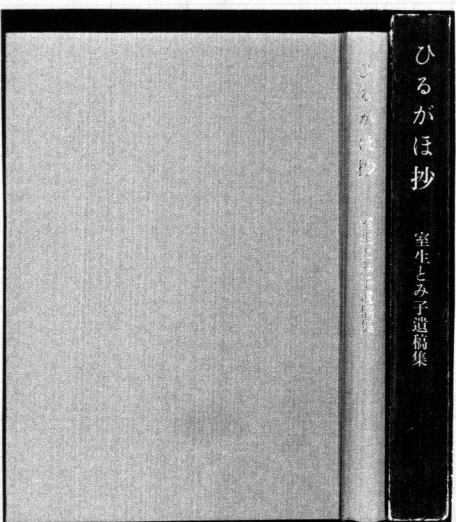


室生とみ子 姓より俳人。明治二十八年七月十日石川縣金澤生れ、昭和二十四年十月十八日歿（一八九一―一九五五）。舊姓宮城、明治二十九年實姉の養女となり浅川姓を名乗る。筆名みどり、みさ子、優詩子、濤子、酒田縁人。四十三年金澤市立金城女學校に入る。四十五年石川縣管内尋常小學校准教員免許を受く。文學を好み、教職の傍ら『北陸毎日新聞』、『北國毎日新聞』、『文藝欄』投稿、また金澤の雑誌『遍路』に短歌を寄稿。大正六年^{かほ}兼て文通中の室生犀星と初めて會ひ、翌年教職を離れて結婚、一男一女を儲ける。

句集『しぐれ抄』（昭和十四年刊）、『とみ子發句集』（昭和二十五年刊）、遺稿集『ひるがほ抄』（昭和四十一年三月―二十六年）『ひるがほ抄』（編輯所）。



ひるがほ抄

室生とみ子遺稿集